

かまた さとし

鎌田慧さんの講演会にご参加を

2012年 流山市憲法集会

原発事故が問いかけるもの 私たちはどのような社会をめざすのか (仮題)

福島原発の事故は、東北の人々に大きな苦しみをもたらし、東葛地域を放射能汚染ホットスポットに変えました。ところが政府は、何よりも被害者支援が求められているこのときに、緊急事態法の制定や憲法の改正など、逆に国民の権利を制限する動きさえ見せています。

原発震災への警鐘はなぜ無視されてきたのか？
国や企業の責任は？ 私たち市民に何が求められているのか？

原発と核兵器の廃絶を訴え続けてきた鎌田さんと一緒に考えてみましょう。



●プロフィール

新聞記者・雑誌編集者を経て、ルポライターとして活躍。自ら現場を体験し、メッセージを発信する。公害・環境・教育・労働問題・冤罪など、社会問題全般に精通。「脱原発 1000 万人アクション」の呼びかけ人。著書に『自動車絶望工場』『反骨のジャーナリスト』『原発列島に行く』等がある。

■ 2012年5月19日 (土)

13:30開場 14:00開会

■ 流山市南流山センター

JR武蔵野線/つくばエクスプレス・南流山駅徒歩5分

■ 資料代 500円 18歳以下無料

■ 主催 九条の会・流山

■ 連絡先 山田洋子 (04-7144-3993) 石林紀四郎 (04-7154-7511) 三原真子 (04-7152-6559)
TEL/FAX